

C.ジョヴァニネッティ & 青柳いづみこ デュオ・リサイタル

“私は、この天使のごとき音楽家のおかげで、
人生における最もピュアな音楽的感銘を受けた”

ユーディ・メニューイン



青柳いづみこ
(大阪音楽大学名誉教授、神戸女学院大学講師)



クリストフ・ジョヴァニネッティ
(パリ国立高等音楽院教授)

〈予定プログラム〉

モーツァルト/ヴァイオリン・ソナタ K.454 B-dur

シューベルト/ソナチネ 第2番 D.385 a-moll

ドビュッシー/亜麻色の髪の乙女、巷に雨の降るごとく、ミンストレル(ハルトマン編)

ドビュッシー/ヴァイオリンとピアノのためのソナタ

ショーソン/ポエム

※一部プログラムが、予告なく変更となる場合がございます。

2023.2.21 (火) 13:30 開演 (13:00 開場)

枚方市総合文化芸術センターひらしんイベントホール

入場料:2,000 円 (150 席限定)

INUI MUSIC SALON 会員価格 1,000 円

チケット予約窓口
お問い合わせ
[INUI MUSIC SALON]

☎080-4761-6820

inui@music@gmail.com (乾)
<https://www.inui-piano.com>

主催：INUI MUSIC SALON



【公式 LINE アカウント】

先行販売、クーポンなどお得な情報が盛りだくさんの公式 LINE アカウントへぜひ登録ください！

C. ジョヴァニネッティ & 青柳いづみこ デュオ・リサイタル

～青柳いづみことクリストフ・ジョヴァニネッティ～

両者はマルセイユ音楽院時代、青柳がフェラス＝バルビゼのデュオで知られるピエール・バルビゼのもとで学んでいた頃から共演をしていた。デュオを組み始めたのは2009年、それ以来フランスと日本を中心に多くのリサイタルを行い、好評を博している。2013年にはコンティニューオ・クラシックスよりデュオアルバム『ミンストレル』をリリース、フランスと日本の紙誌で好評を得た。



クリストフ・ジョヴァニネッティ

パリ音楽院、ブカレスト音楽院に学び、さらにドイツでアマデウス弦楽四重奏団のもとで研鑽を積む。1984年にイザイ弦楽四重奏団、1995年にエリゼ弦楽四重奏団を結成し、第1ヴァイオリンをつとめた。これらのクワルテットにより、デッカ、ハルモニア・ムンディ、フィリップス、ジグーザグ、テリトワールでの録音を果たすとともに、ニューヨークのカーネギー・ホール、ウィーンのエリザベスホール、ザルツブルクのモーツァルテウム、ロンドンのウィグモア・ホール、クイーン・エリザベスホール、アムステルダムのコンセルト・ヘボウ、パリのシャンゼリゼ劇場など、世界各地の檜舞台に登場した。

室内楽奏者としてはオーギュスタン・デュメイ、ジュロモ・ミンツ、マリア・ジョアオ・ピレシュ、ジャン＝フィリップ・コラール、フランク・ブラレイ、ミシェル・ボルタルなど著名な音楽家と共演している。2013年からアンサンブル・カリオペに参加。2014年から3年間に3枚のCDをリリースしている。2017年に作曲家・ピアニストのミカエル・レヴィナス、チェリストのエマニュエル・ベルトランとトリオを結成。演奏活動と平行して、パリ国立高等音楽院教授として後進の指導にもあたっている。

かつてユーディ・メニューインはクリストフ・ジョヴァニネッティの演奏を聴き、「私はこの天使のような音楽かのおかげで、人生における最もピュアな音楽的感銘を受けた」と述べた。



青柳いづみこ

ピアニスト・文筆家。安川加壽子、ピエール・バルビゼの各氏に師事。フランス国立マルセイユ音楽院首席卒業、東京藝術大学大学院博士課程修了。執筆と演奏を兼ね、書籍は30点、CDは20枚を数える。そのうち18枚が『レコード芸術』特選盤となる他、文化庁芸術祭賞、吉田秀和賞など受賞多数。『ラ・フォルジュルネ音楽祭』『東京・春・音楽祭』等にも出演。近刊に「高橋悠治という怪物」(河出書房新社)、「阿佐ヶ谷アタリデ大ザケノンダ」(平凡社)、CDに『海』(OTTAVA)、『物語』(ALM)など。2021年には、書籍『花を聴く、花を読む』(月曜社)とCD『花のアルバム』を同時刊行。日本演奏連盟理事、日本ショパン協会理事。大阪音楽大学名誉教授、神戸女学院大学講師。2021年より兵庫県養父市の芸術監督。